

グンバイヒルガオ 抽出エキス

IPOMOEA PES-CAPRAE FLOWER/LEAF/STEM EXTRACT



期待される効果 Efficacy



グンバイヒルガオについて :

グンバイヒルガオ (*Ipomoea Pes-Caprae Flower*) は、世界中の熱帯から亜熱帯の海岸に分布する海浜植物。日本では九州南部と四国南部で見られる。

葉が軍配形であることが特徴である。花期は夏であり、紅紫色の花をつける。果実には黄褐色の毛が密に生えている。

バイオテクノロジーを利用して有効成分を抽出し、実験によりグンバイヒルガオ花/葉/茎エキスには抗酸化作用、抗アレルギー作用、皮膚細胞増殖作用があることが判明しました。

販 売 名 : グンバイヒルガオ抽出エキス

外 観 : 黄色～濃黄色

表示名称 : グンバイヒルガオ花/葉/茎エキス(日本語表示名称申請中)

保 存 方 法 : 室温・遮光

INCI名 : *Ipomoea Pes-Caprae Flower/Leaf/Stem Extract*

推奨配合量 : 1%～3%

規 格 : 1kg

販売名	表示名称
グンバイヒルガオ 抽出エキス	水、プロパンジオール、 グンバイヒルガオ花/葉/茎エキス 、ヒドロキシアセトフェノン、カプリルヒドロキサム酸、エチルヘキシルグリセリン

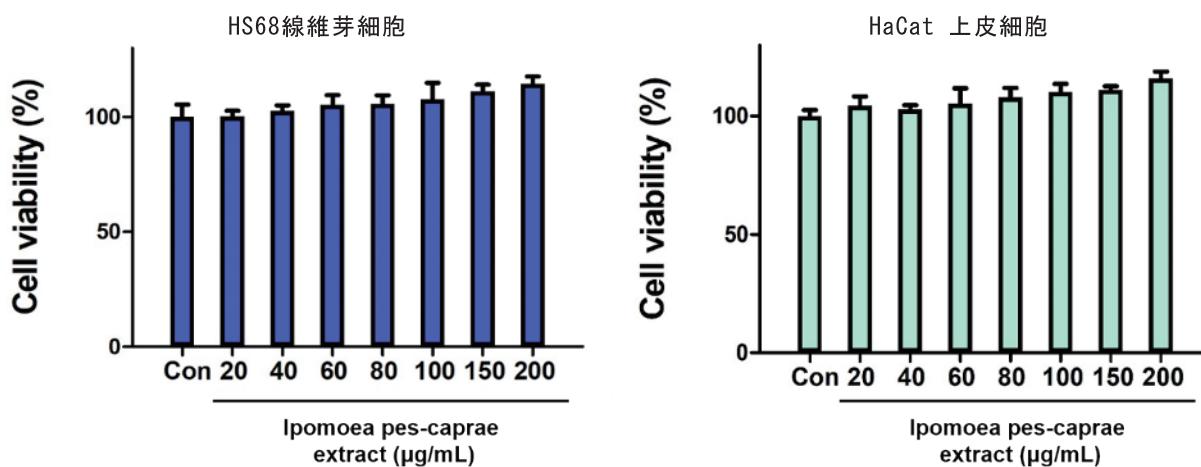
お問合せ先

U STYLE 株式会社 〒101-0047 東京都千代田区内神田1-15-7 いちご大手町ノースビル3F
info@ustyle-japan.com TEL: 03-5244-5466 FAX: 03-5244-5465

安全性評価

- ・細胞毒性なし・変異原性なし・刺激性なし・光毒性なし
- ・有害な成分やアレルギー成分は含まれていません
- ・アトピー性皮膚炎に悩む大人や子供にも適しています

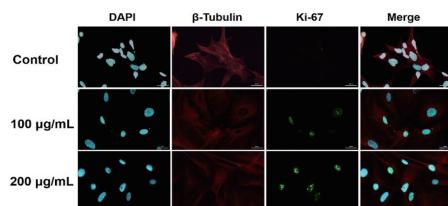
皮膚細胞増殖の促進 Enhance cell proliferation



グンバイヒルガオ花/葉/茎エキスが、皮膚線維芽細胞（HS68細胞）および上皮細胞（HaCat細胞）の生存に及ぼす影響をMTT解析により解析した結果、グンバイヒルガオ花/葉/茎エキスには細胞増殖を促進する効果があることが確認されました。

細胞増殖促進試験

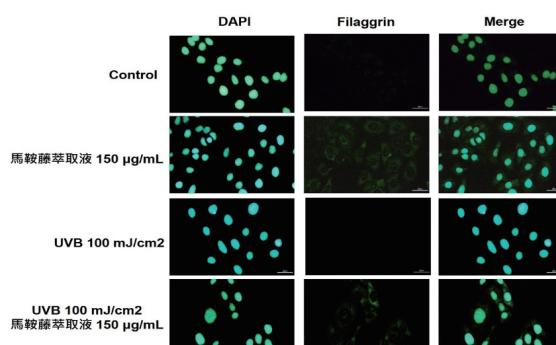
Effect of cell proliferation marker



Ki-67は細胞増殖タンパク質であり、Ki-67の発現増加（緑色蛍光）の実験結果により、グンバイヒルガオ花/葉/茎エキスが細胞を活性化し、皮膚細胞の分裂を促進し、細胞の増殖と修復を促進させることができます。

保湿に関する試験

Moisturizing index of Filaggrin assay

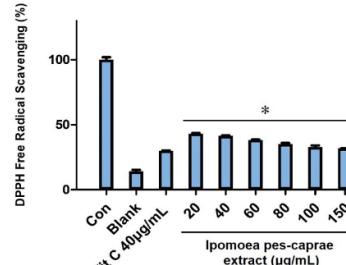


フィラグリンは、上皮細胞のケラチン線維に結合するフィラメント関連タンパク質です。フィラグリンは角質層上部でさらに処理されて、水分の保持と細胞間の結合力の強化に役立つ遊離アミノ酸を放出し、水分の損失を制御します。

実験の結果、グンバイヒルガオ花/葉/茎エキスは、フィラグリンの性能（緑色蛍光強度）を大幅に向上させ、UVBによる細胞損傷後の細胞接合部を修復することができ、効果的に保湿効果を得られることが示されました。

抗酸化試験

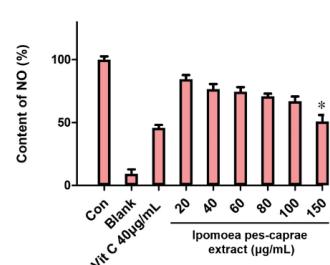
Anti-oxidant assay



DPPH フリーラジカル除去試験では、フリーラジカル結合におけるエキスの有効性を確認できます。したがって、DPPH の濃度が低いほど、抗酸化力が優れています。結果は、グンバイヒルガオ花/葉/茎エキスが20 µg/mL で非常に優れた抗酸化力を持つことが示されました。

抗炎症試験

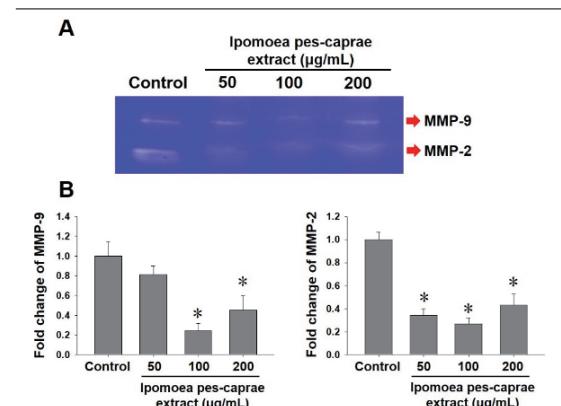
Anti-inflammatory assay



一酸化窒素（NO）は、体内で多くの働きをしており、炎症反応の発生もNOと密接に関係しているため、NOの含有量を抑制することができれば、炎症を抑制する効果があることになります。実験データから、グンバイヒルガオ花/葉/茎エキスが効果的にNOの含有量を抑制することがわかり、炎症反応を抑制することができる事が示されました。

MMPsの抑制

Reduce MMPs protein expression



MMPはコラーゲンを分解する酵素で、細胞内に多く存在するほど、肌のコラーゲン分解効率が高まり、老化のスピードが増します。グンバイヒルガオ花/葉/茎エキスは、表皮細胞におけるMMPの活性を阻害することが示されました。